

報道機関各位

国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

お知らせ

1. 件名：「第7回由比地すべり対策検討委員会」の検討結果について
2. 概要：

静岡県静岡市清水区由比地区（サッタ山）は、糸魚川—静岡構造線に近接する脆弱な地質特性を有し、かつ急峻な地形からなる地域です。

また、斜面直下には、日本の大動脈（JR東海道本線・国道1号・東名高速道路）が海岸沿いに併走しており、防災上重要な地区となっています。

当地区では、豪雨や今後発生が懸念される東海地震等により大規模な地すべりが発生するおそれがあることに鑑み、平成16年度から地すべりに関する学識経験者等で構成される委員会を設立し、調査・検討を行ってきました。

第7回委員会では、平成20・21年度の地質調査結果等に基づく地すべり機構解析結果などについて、指導・助言をいただきました。
3. 第7回 由比地すべり対策検討委員会の概要
 - (1) 日時：平成22年3月10日（水）10：30～12：00
 - (2) 場所：ホテルプリヴェ静岡ステーション
 - (3) 委員：別紙1のとおり
 - (4) 事務局：国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所
静岡県建設部河川砂防局砂防室
4. 検討結果の概要
第7回委員会での検討結果は別紙2に示すとおり
5. 解禁：指定なし
6. 配布先：静岡県政記者クラブ
7. 問合せ先：国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所
TEL 0544-27-5221（代）
副所長 小泉 市朗
地すべり対策課長 土屋 馨

第 7 回 由比地すべり対策検討委員会

出席者名簿

(敬称略)

委員長

○土 隆一 静岡大学 名誉教授

委員 (五十音順)

小 川 智 宏 国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所長 (ご欠席)
 (代理出席: 一前 修 国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 副所長)

小 幡 明 東海旅客鉄道株式会社 静岡支社 工務部 管理課長 (ご欠席)
 (代理出席: 齋 健一 東海旅客鉄道株式会社 静岡支社 工務部 管理課 担当課長)

金 藤 康 昭 国土交通省 中部地方整備局 企画部 防災対策官 (ご欠席)
 (代理出席: 堤 隆広 国土交通省 中部地方整備局 企画部 防災課 課長補佐)

軍 記 伸 一 中日本高速道路株式会社 東京支社 保全・サービス事業部
 企画統括チーム 担当リーダー (ご欠席)
 (代理出席: 伊藤 賢一 中日本高速道路株式会社 東京支社 保全・サービス事業部
 工務担当課長)

鈴 木 義 勝 静岡県 建設部 河川砂防局 技監 (ご欠席)
 (代理出席: 渡邊 圭一 静岡県 建設部 河川砂防局 砂防室主任)

高 橋 洋 一 国土交通省 中部地方整備局 河川部 河川調査官 (ご欠席)
 (代理出席: 石尾 浩市 国土交通省 中部地方整備局 河川部 河川計画課 課長補佐)

土 屋 智 静岡大学 農学部 教授

寺 田 秀 樹 国土交通省 国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター長
 (ご欠席)

富 野 哲 朗 静岡市 建設局長 (ご欠席)
 (代理出席: 石井 隆 静岡市 建設局 土木部理事)

中 嶋 通 明 静岡県 危機管理局 危機政策室長 (ご欠席)
 (代理出席: 櫻井 智洋 静岡県危機管理局 危機政策室 主査)

中 村 浩 之 東京農工大学 名誉教授

夏 目 昌 亮 国土交通省 中部運輸局 鉄道部 技術課長 (ご欠席)
 (代理出席: 城山 浩 国土交通省 中部運輸局 鉄道部 計画課 課長補佐)

藤 田 壽 雄 社団法人 日本地すべり学会顧問

松 尾 修 財団法人 先端建設技術センター 常任参与兼研究第三部長 (ご欠席)

松 田 正 尚 国土交通省 中部地方整備局 道路部 道路管理課長

三 輪 賢 志 国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所長

山 下 正 晴 国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局長 (ご欠席)
 (代理出席: 梶川 真一 国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局 首席運輸企画専門官)

第7回 由比地すべり対策検討委員会 検討結果

(1) 地すべり機構解析

大押ブロックを対象として実施した調査ボーリングの結果から、ブロック区分の見直しを行い、その形状について確認した。

(2) 地すべり動態観測結果

地盤伸縮計や傾斜計、GPS、孔内傾斜計などには明瞭に累積する変位が観測されていないことから、現時点では顕著な地すべり活動は認められないことを確認。

また、平成21年8月11日に発生した駿河湾の地震では、現地では震度4を計測したが、地震の影響による地すべり活動は認められないことを確認。

(3) 対策工（抑制工）施工状況

平成17年度より地下水排除工（集水井工、横ボーリング工）を実施中。

| ブロック名 | 施設名 | 計画施設数 | H21年度末 完成数 | 計画残 施設数 |
|---------|--------|-------|---------------|------------|
| 山中ブロック | 集水井 | 10基 | 5基 | 5基 |
| | 横ボーリング | 3箇所 | 3箇所 | 0箇所 |
| 蜂ヶ沢ブロック | 集水井 | 7基 | 7基 | 0基 |
| | 横ボーリング | 5箇所 | 5箇所 | 0箇所 |
| 大久保ブロック | 集水井 | 6基 | 6基 | 0基 |
| | 横ボーリング | 13箇所 | 13箇所 | 0箇所 |

排水トンネル工については、準備中

(4) 対策工計画

(地震対策)

二次元FEM解析及びニューマーク解析を行い地震時安定性評価を行った。この手法を用いて、平成21年8月11日に発生した駿河湾の地震時の解析を行ったところ、実態と整合がとれることを確認した。

(抑止工計画)

山中・大久保ブロックにおける豪雨及び地震に対する抑止工の施設計画について確認を行った。

蜂ヶ沢ブロックの抑止工設計については、同様の手法を用いて実施していくことを確認した。

(5) 危機管理体制

平成20年度末から実施している「由比西倉沢斜面防災連絡会」を定期的実施し、関係機関の情報共有を図っていくことを確認。

(6) 今後の調査計画

大押ブロックの地質調査及び各ブロック下部の表層部を対象とした地質調査を実施していく必要がある。

また、継続的に観測を行い、対策工の効果について把握を行う。